

昨年度の成果と課題

取り組みにおける成果と課題

- ・日常的に繰り返し練習をして定着を図ったり、大田区の漢字テストでの合格を目指し、過去の問題で練習を行ったりしてきたことで、漢字の読み書きの力は身に付いてきた。
- ・話を聞く際に、話の中心を落とさずに聞くことを意識させたり、メモの工夫をさせたりするようにしたことで、話し手の意図を考えながら聞く力は身に付いてきた。
- ・説明的な文章の読み取りの学習でキーワードを抜き出したり、そのキーワードを使って自分の言葉で表現し直したりする活動を授業に組み入れるようにしたが、依然として課題が残る。

平成28年度の調査結果の分析

結果の分析

- 「話すこと・聞くこと」は、話し手の意図を考えながら聞くことについては、目標値をほぼ上回っているが、互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うことや、自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことについては、目標値に達していない。
- 「書くこと」は、指定された長さで文章を書くことや2段落構成で文章を書くことなどについても目標値を上回った。あらゆる学習活動を通して、言語能力向上を意識して書く活動を積極的に取り入れた成果と思われる。
- 「読むこと」は、物語の内容の読み取りはどの学年も目標値を上回っているが、説明文の内容の読み取りについては、全般的に正答率が低い。特に段落の要点に注意して読み取る力や、要約する力が身に付いていない。
- 「言語についての知識・理解・技能」は、漢字の読み書きについてはどの学年も目標値をほぼ上回っているが、4年のローマ字の読み書き、5年の指示語の理解が十分ではない。

調査結果に基づいた授業改善のポイント及び改善策

○「話すこと・聞くこと」における「話し合うこと」について

低：単元の内容に応じ話し合い活動を積極的に取り入れる。ペアから始めて徐々にグループでの話し合いに広げていくようにする。一人一人が考えを出し合ってから、グループとして考えをまとめていく、という流れを提示する。

中：学級全体で話し合う際、まず一人一人が自分の意見をもつ時間を確保する。また、個人やグループで意見の共通点や相違点を整理したうえで、学級全体での話し合いに臨むようにさせる。

高：話し合いに臨む前の準備の時間を十分に確保し、自分なりに幅広く考え、必要な資料を用意しておくようにさせる。それらに基づいて自分と異なる意見に対応するよう促していく。

○「読むこと」における、説明文の読み取りについて

低：時間的な順序や事柄の順序を考えながら読み取る力を高めるために、生活科との関連も図り、身近な事物について説明する文章を書く活動を多く取り入れる。その際、それらの事物の特徴に沿って、説明する順序を工夫するよう促す。

中：要点に注意して読み取る力を高めるために、文章を読む目的を明確にさせようとして、中心となる語や文に注目して要点をまとめたり、小見出しを付けたりするなどして、内容を整理させる。学習計画を提示して、単元を貫く言語活動や終末の活動を常に意識しながら読み取りを行わせる。

高：要約する力を高めるために、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方や巧みな叙述について注意しながら読み取りをさせる。分量や表現の仕方を設定してまとめる活動を、多く取り入れる。